

この国に 生まれてよかった この時代に 生きてよかった

■ベルリンの鵜外記念館で講演

Q ドイツで障害者教育の歴史について講演をされたとのことですが、その様子を聞かせてください。
私は、昨年の「ナチスドイツと障害者」についてのNHKとの共同取材以来、このテーマを追っています。これを通して、いろんな方とつながりました。その一人に、森鵜外記念館のベアテ副館長がいます。森鵜外は1884年〜1888年にドイツに滞在したのですが、ベルリンでの下宿先の一つが記念館になっています。ここには、鵜外が読んだとさ

れる蔵書300冊あまりが展示され、現在はフンボルト大学の付属施設になっています。記念館では年間を通じたテーマを決め、それに沿って講演会やイベントなどを開催し、いろいろな立場の人が日本の風俗や最近の統計などから年間テーマを深めていきます。今年、「日本の子ども」がテーマでした。その一環で私に日本の障害者教育の歴史について話してほしいと依頼がありました。

6月9日の当日は、40名の参加者で部屋がいっぱいになりました。ほとんどはドイツ人で、日本の歴史や文化に関心のある人ばかり

でした。質疑応答では、現在の障害のある人のことはどうなっているのか、障害のある人にとって今の日本政府はどうかなど、鋭い質問が次々と出されました。
質疑応答を通じて日本もドイツも共通した課題をもっているんだなと感じました。私たちは障害分野に身を置いています。時々、歴史や文化といった大きな枠組みで国際交流するのもいいのではないのでしょうか。今回のつながりは、「T4作戦」に端を発していますが、その気になれば一つのテーマからいろいろな人間関係が生まれるものです。
鵜外記念館は、日独交流のシンボルの一つですが、日本政府が補助を打ち切ったり、大学もお金が厳しかったりするなかで、いろんな企画をやって懸命に自主財源をつくっています。読者のみなさんも、ベルリンに行ったらぜひ立ち寄ってほしいですね。

■映画で障害問題を伝えたい

Q きょうされん40周年記念事業の一環で映画を製作することですが…

本質的な問題や現象に接したときに、それをどう伝えるかが問われます。視覚や聴覚に訴えるという手法はとても大切で、具体的には映像という手段です。きょうされんは、障害問題の基本を伝えるということや震災問題をもっと広げる必要があると考え、それをテーマとした映画を制作します。

東日本大震災で障害者の死亡率は全住民のそれと比較して2倍でしたし、熊本地震でも、過去の経験と教訓がほとんど活かされて

いません。また、東南海や首都直下も遠くないとされているなかで、震災問題を伝える力が問われています。JDF（日本障害フォーラム）では、2013年に『生命のことづけ』というドキュメンタリー映画を作り、5カ国語に翻訳され、国内外に広がっています。
きょうされんは、これまでもほぼ10年おきに『どんぐりの家』や『ふるさとをください』などを製作してきましたが、今回は、東日本大震災を主題に漫画家の山本おさむさんの脚本で製作する予定です。障害問題で今なにをとりあげるかを考えると、東日本大震災は外せません。「忘れない」が最大の支援になるかと思えます。そして震災問題を深めていけば、自ずと障害問題の本質が浮かび上が

第6回 【インタビュー】仲間とともに歩んで

藤井克徳

日本障害者協議会代表・きょうされん専務理事

ふじい かつのり / 1949年生まれ。養護学校教員をへて、日本初の精神障害者のための共同作業所「あさやけ第2作業所」や「きょうされん」の活動に専念。日本障害フォーラム（JDF）や、日本障害者協議会（JD）など、様々な団体の役員をつとめる。



▶ 鵜外記念館で藤井さんの講演を聞く人たち

ります。2倍の不利益は、日常のそこかしこに潜んでいます。震災問題を主題としながら、障害のある人をめぐる本質問題に迫られたいと思います。

■文字と決別して20年

Q 藤井さんの目の障害について話していただけますか？
私は、今は光も感じない全盲の状態です。光を感じなくなってから7年、文字と決別してから20年近くになります。もともと弱視でしたが、日常は自転車に乗るなど、生活にそれほど支障はありませんでした。しかし、30代から40代にかけて視力が急速に落ちてきました。角膜変性症という病気で、角膜移植が一番有効とされ、手術を30代以降に4回行ないました。術後は、すごくクリアに見えます。暗室で眼帯を外した瞬間の感激は、何とも言えません。消毒用の洗面器を乗せている白いスタンドがくっきりと見え、医師の指や手のシワもよく見えました。しばらくは日増しに視力が上がっていくのです。このままいてほしいとまさに神頼みの心境です。

でもだめでした。数ヶ月すると、決まって一種の拒絶反応が起こります。血管が角膜に入り込んでくるのです。表側から見ると白く濁った状態になります。それだけならまだしも、手術をくりかえしているうちに、緑内障というこわい病気を併発してしまいました。急に眼圧が上がり、網膜が壊れてしまったのです。スクリーンの機能をもつ網膜には、脳神経の一つの視神経が分布しています。デリケートな視神経はいったん壊れると再生しな